

2012年1月1日～2020年3月31日の間に  
間質性肺炎のために当科を受診された患者さん及びそのご家族様へ  
—「間質性肺炎の Neuropeptide Y (NPY)による免疫応答を介した肺の線維化メカニズムに  
関する病態研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究機関長 研究科長 大塚 愛二  
研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 病院長 金澤 右

研究責任者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科	教授	木浦 勝行
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科		宮原 信明
	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科		谷口 暁彦
	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科		妹尾 賢
	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科		板野 純子
	岡山大学病院	呼吸器・乳腺内分泌外科学		豊岡 伸一

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

間質性肺炎が起こる原因は未だに不明で、有効な治療法も少ない現状です。今回、私たちの研究グループが行ったマウスの実験で、主に神経から分泌されるニューロペプチド Y (NPY) という物質が肺の線維化（炎症で硬くなること）を抑制することが推察されました。この研究の目的は実際の患者さんの検体を使って、NPY と間質性肺炎の関係を解明することです。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により、間質性肺炎の患者さんにおける NPY の働きが分かれば、この病気の原因を明らかにする手がかりとなり、引いては新規治療薬の開発に繋がるという医学上の貢献がなされることが考えられます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

この研究では 2012 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日に間質性肺炎のために岡山大学病院または共同研究機関を受診した患者さん 100 名を対象としています。うち岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科においては 90 名の以下の患者さんを対象とする予定です。

- ① 胸部 CT で間質性肺炎と診断された患者さん。
- ② 血清・血漿、気管支肺胞洗浄液、病理検体のいずれかが保存されている患者さん
- ③ 研究参加は任意であるご本人が理解した上で同意をいただける患者さん。ただし、以下の場合にはその限りではありません。
  - 1) 亡くなられている患者さんや転院などにより連絡がとれなくなった患者さん。
  - 2) 研 1509-030「岡山大学病院バイオバンク事業についての説明とご協力をお願い」及び研 1609-026「抗 HLA 抗体測定に基づく肺移植後免疫学的活動性の評価」で試料・情報の保管及び将来の研究に

ついて文書での同意をいただいている患者さん（この場合、説明をこの文書に代え、不参加のご連絡をいただかない限りは同意いただけたものとみなします）。

## 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月31日

## 3) 研究方法

日常診療で行った血液検査で残った血液や岡山大学バイオバンクに保管してある血液、気管支鏡検査のときの気管支肺胞洗浄液の残りで NPY を測定したり、病理部に保管してある肺の残りの検体を用いて NPY を染色したりします。間質性肺炎における NPY の血中濃度や肺での働きを解明することを目的とします。

## 4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている血清および気管支肺胞洗浄液、肺の組織検体を必要最小限使用させていただきますが、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、患者さんの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

## 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、体重、身長、バイタルサイン、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、投薬歴、身体所見、治療内容・経過など

- ・胸部 X 線写真、胸部 CT、呼吸機能検査、心電図、心臓超音波検査、血液検査、気管支鏡検査、気管支肺胞洗浄液などの検査データ

## 6) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する試料・情報は、岡山大学病院にて解析を行います。

## 7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

**<問い合わせ・連絡先>**

岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科

氏名：板野 純子、妹尾 賢、谷口 暁彦、宮原 信明

電話：086-235-7227（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-232-8226

**<研究組織>**

研究代表機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究代表責任者 岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 木浦 勝行

**共同研究機関**

公南岡山医療センター 呼吸器・アレルギー内科 院長 谷本 安